

復活節第7主日

「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」

- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -

母の日

(マタイによる福音書 28 : 19~20)

朝第1礼拝 9:00~10:00
朝第2礼拝 10:30~11:45
〈神の招き〉
前奏 ②天にまします我らの父よ ブクステフデー
招きの詞 エゼキエル書36:26~27
交読詩編 46:1~12
讃美歌 204
〈神の言葉〉
聖書 列王記下2:6~15 (旧約 新共同訳 577頁)
ヨハネによる福音書7:32~39 (新約 新共同訳 179頁)
祈禱 (新約 新共同訳 179頁)
讃美歌 336
説教 「わたしのいる所」
祈禱 甲賀正彦伝道師
黙想
讃美歌 111
〈神への応答〉
使徒信条
献金
主の祈り
宣教報告②
頌栄 27
派遣と祝福
後奏 ②我に来たれと神のみ子は語りたもう J.C. パッハ
宣教報告①

夕礼拝 18:00~19:00
〈神の招き〉
前奏 ただ神のみ心にまかせる者は クレブス
招きの詞 エゼキエル書36:26~27
交読詩編 46:1~12
讃美歌 16
〈神の言葉〉
聖書 詩編46:2~12 (旧約 新共同訳 880頁)
フィリピの信徒への手紙1:12~26 (新約 新共同訳 361頁)
祈禱 (新約 新共同訳 361頁)
讃美歌 51
説教 「キリストがあがめられるように」
祈禱 熊江秀一牧師
黙想
讃美歌 518
〈神への応答〉
使徒信条
献金
主の祈り
宣教報告
頌栄 27
派遣と祝福
後奏 ただ神のみ心にまかせる者は(コラール) クレブス

今週の御言葉(ヨハネによる福音書7:38)
わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その人の内から生きた水が川となって流れ出るようになる。

次週の礼拝(5月19日) ペンテコステ礼拝(聖餐式・洗礼式②)

①9:00、②10:30 説教「聖霊の執り成しによって」熊江秀一牧師 ヨエル書3:1~2、ローマの信徒への手紙8:18~28 交読詩編104:24~30 讃美歌12、(②)67、346、343、81、27	☑18:00 説教「風と炎の霊」甲賀正彦伝道師 エゼキエル書37:1~14、使徒言行録2:1~11 交読詩編104:24~30 讃美歌217、345、352、81、27
--	--

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、☑は夕礼拝。

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. ペンテコステ礼拝の為に
4. 定期教会総会の為に
5. 新しい聖書の導入の為に
6. 大宮幼稚園・植竹幼稚園・白百合幼稚園の為に
7. 日本基督教団のために
8. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
9. 病気の兄姉の為に

*関東教区お祈りカレンダー 佐渡教会 村上教会 中条教会

◇先週の説教より 「清さと汚れ」 マルコによる福音書7:1~23、イザヤ書29:13~14 熊江秀一牧師

「ガリラヤの春」と呼ばれた主イエスの伝道に相対するように、陰のような反対勢力が現れて来る。エルサレムから遣われた「ファリサイ派の人々と数人の律法学者たち」である。

彼らは、主の弟子の中に汚れた手のままで食事をする者がいることを、主に指摘し責める。これは衛生面ではなく宗教上の汚れのことである。この教えは律法にはない。律法を解釈する中で人が生み出した「言い伝え」の規定である。当時、多くの「言い伝え」が生み出され、律法と同じ権威を持っていた。律法は人が神の民として歩むために神が与えた。しかし律法を解釈して人が生み出した「言い伝え」は、律法の目的を離れ、掟を守ることのみに心が奪われることにもなった。

主はそれをイザヤ書から「口先ではわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている」と指摘する。私たちが常に問われることである。

主はその実例を語る。「父と母を敬え」(十戒の第5戒)よりも、言い伝えの「コルバン」を重んじる姿である。コルバン(神への供え物)と宣言をすることにより、両親に対する義務や責任を回避する者がいた。「受け継いだ言い伝えで神の言葉を無にしている」姿である。なぜそういうことがおこるのか。それは汚れと清さに対する誤った理解からである。私たちはこれまで、人の汚れは外側から入ってきて、私たちが汚すと考えてきた。しかし主は「人から出て来るものこそ、人を汚す。中から、つまり人間の心から、悪い思いが出て来る」と宣言する。

それでは私たちが清く生きるためにはどうすればいいのか。それは自分の汚れの現実を知り、主の憐れみによって十字架の血潮で罪を洗い清めていただくことである。私たちは赦された罪人である。ここに私たちの清さがある。